

# 市民の活動報告

## 目次

1. 特定非営利活動法人わたらせ未来基金の活動報告 ..... 1
2. 渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会の活動報告 ..... 3



# 1. 特定非営利活動法人わたらせ未来基金の活動報告

2025年4月、6月、10月、2026年1月

番号	月・日		4月26日	6月8日	10月19日	1月18日
	鳥種	天気	曇り	曇り	曇り	晴れ
1	オカヨシガモ		3			
2	ヒドリガモ				1	
3	カルガモ		6	1	13	18
4	マガモ					4
5	コガモ		30			61
6	キジバト		2		1	
7	クイナ類			1		
8	カイツブリ		1			
9	アオアシシギ				2	
10	コウノトリ		4	3	1	
11	カワウ					2
12	アオサギ		1	1	4	5
13	ダイサギ		2		2	1
14	チュウヒ					1
15	モズ			1		
16	ハシブトガラス		2		1	1
17	ヒバリ		1	1		
18	ヒヨドリ				1	
19	ツバメ		1	2		
20	ウグイス		1			
21	オオヨシキリ		1	11		
22	コヨシキリ					
23	セッカ		1			
24	ツグミ					1
25	カワラヒワ				3	
26	ホオジロ		1	2		1
月別確認種数			15	9	10	10
月別確認総数			72	23	29	95

年間確認種数： 26種

参考事項:コウノトリ確認数 (当日の調査前後・調査範囲外を含む)	確認数	5	5	2	1
	確認場所・動態と内訳	調査中、人工巣塔で親1、ヒナ3、調査前、調査範囲外から巣塔に向かい飛翔する別個体1	調査中、人工巣塔で親1、ヒナ3、調査前、調査範囲内で飛翔する別個体1	調査前、調査範囲外で飛翔2 (調査中の飛翔1は、調査前の1と同一と推定)	調査終了後、調査範囲外で2羽の採餌を確認 (調査前後、調査範囲外で1羽の飛翔を4度確認も個体識別不可)

## 年度別比較

### 調査時期別

#### 確認種類数(各調査ごと及び通算種数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	—	25	15	17	11	15
6月	17	18	10	10	11	9
10月	27	13	13	10	7	10
1月	18	17	17	17	11	10
種類総数	42	43	31	33	22	26

#### 確認数(各調査ごと及び総数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	—	105	35	41	35	57
6月	39	51	30	28	51	23
10月	126	57	86	36	13	29
1月	94	66	245	115	131	95
確認総数	259	279	396	220	230	204

注) 令和2年の4月は調査無し  
令和4年の1月はコガモ132羽の大群あり

### 水鳥と他に分類した比較

#### 確認種数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
水鳥	18	21	12	13	11	12
その他	24	22	19	20	11	14
種類総数	42	43	31	33	22	26

#### 確認総数

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
水鳥	103	149	278	142	157	167
その他	156	130	118	78	73	37
確認総数	259	279	396	220	230	204

注) 水鳥:カモ科、カイツブリ科、コウノトリ科、ウ科、サギ科、クイナ科、シギ科、カワセミ科の合計数

### コウノトリの確認数(調査当日の調査時間前後及び定点センサス範囲外を含む)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
4月	2	3	3	5	5	5
6月	4	3	4	4	5	5
10月	0	1	2	1	2	2
1月	2	2	1	2	1	2

4月は同時期の別調査

4月は推定のヒナ2を含む



2025年度 渡良瀬遊水地第2調節地「XXXXXXXXXX」ラインセンサス野鳥調査（6年目）

渡良瀬遊水地を守る利根川流域住民協議会

開催年			2025		2025		2025		2025		2025		2026		2026																			
開催月			4		4		6		6		10		10		1																			
開催日			27		27		1		1		5		5		10																			
開始時間-終了時間			8:11~8:39		8:41~7:00		7:11~7:20		7:32~7:52		8:27~8:44		8:49~7:05		7:07~7:24		7:26~7:44		8:23~8:42		8:45~9:07		9:12~9:42		9:43~10:10		8:25~8:58		8:59~9:18		9:20~9:50		9:53~10:13	
回			Aコース	Aコース	Bコース	Bコース	Aコース	Aコース	Bコース	Bコース	Aコース	Aコース	Bコース	Bコース	Aコース	Aコース	Bコース	Bコース	Aコース	Aコース	Bコース	Bコース	Aコース	Aコース	Bコース	Bコース	Aコース	Aコース	Bコース	Bコース				
往路																																		
復路																																		
天候			晴		晴		曇り		曇り		曇り		曇り		晴		晴		晴		晴		晴		晴		晴		晴					
範囲内確認種			6	6	4	7	7	9	5	7	3	6	9	4	6	11	4	7																
目	科	種																																
キジ	キジ	キジ	0(4)	1(5)	3	1(1)	0(2)																											
カモ	カモ	オカヨシガモ	0(1)		0(1)																													
		ヒドリガモ																																
		マガモ																																
		カルガモ	0(14)	0(4)	0(8)	0(13)		2																										
		ハンビロガモ	0(2)																															
		コガモ	0(23)	3(3)	3	0(14)																												
		ミコアイサ																																
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ																																
		カンムリカイツブリ																																
コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ																																
カツオドリ	ウ	カワウ			0(1)		1(2)			0(1)	0(1)																							
ハト	ハト	キジバト	3(14)		0(1)	0(1)	1(1)	0(2)		0(1)				2(1)																				
ペリカン	サギ	サンカノゴイ		0(1)						0(1)																								
		アオサギ	0(2)	0(1)		0(1)																												
		ダイサギ	0(5)		0(1)	0(1)																												
ツル	クイナ	クイナ																																
		ヒクイナ																																
カッコウ	カッコウ	ホトトギス																																
		カッコウ					0(3)	0(1)		0(3)	0(3)																							
チドリ	シギ	タシギ	0(2)																															
タカ	タカ	ミサゴ																																
		トビ				0(1)		1																										
		チュウヒ																																
		ノスリ																																
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ					0(1)	1(1)																										
		アカショウビン								0(1)																								
ハヤブサ	ハヤブサ	ハヤブサ																																
スズメ	モズ	モズ												1(3)	2	1(4)	2	0(2)																
	カラス	カケス																																
		オナガ																																
		ハシボソガラス	0(1)	0(1)	0(1)	1(3)				0(2)	2	0(4)																						
		ハシフトガラス			0(3)		1	1		0(2)	0(1)																							
		シジュウカラ																																
		ヒバリ	1(2)	0(3)	3(6)	2(3)																												
		シヨウドウツバメ																																
		ツバメ		1																														
		ヒヨドリ	0(6)																															
		ウグイス	1	1	0(2)	1(1)	3	1(2)		1(1)																								
		センニュウ			3	1(1)	0(2)			0(1)	1(1)																							
		オオヨシキリ	2(3)	0(2)	0(2)	0(4)	5(5)	13(8)	7(7)	3(12)																								
		コヨシキリ					4(2)	3(1)	5	8(2)																								
		セッカ	2(5)	3(5)	0(7)	3(3)	3(2)	2(2)	5(4)	2(3)																								
		ヒタキ	0(6)	1																														
		ツグミ																																
		スズメ																																
		セキレイ																																
		アトリ																																
		カラハシ																																
		ベニマシコ							1	0(1)																								
		ホオジロ	1	0(1)		1																												
		カシラダカ																																
		アオジ																																
		オオジュリン																																
スズメ(外来種)	チメドリ	ガビチョウ																																

※調査範囲は距離1km×幅片側50m(高さ50m) ( )は範囲外の確認数

## 5. 調査のまとめ

「渡良瀬遊水池を守る利根川流域住民協議会」では、今年度も第2調節池内の「XXXXXXXXXX」において、四季を通じてラインセンサスを実施した。

調査地の詳細及び調査期日・時間等は別記の通りである。なお、秋期の調査は昨年まで11月に行ってきたが、今年度は10月に変更した。

また、記録鳥種については別表に記す。

以下、今年度の調査結果について述べ、あわせて考察する。

### 1. 種数等について

記録された鳥種の種数は、センサスの範囲外も含めると、外来種1種を加え、14目29科54種であった。なお、センサス範囲内では32種である。

- 季節としては冬期に種類が多く、春期、夏期と秋期は同様の種数である。

### 2. 希少種について

上記の鳥種のうち、環境省(2020年)及び栃木県(2023年)のレッドリストに記載された絶滅危惧種及び準絶滅危惧種等は次の通りであった〔計10種〕。

- 環境省ⅠA類：コウノトリ
- 環境省ⅠB類・栃木県Ⅰ類：サンカノゴイ、オオセッカ
- 環境省ⅠB類・栃木県Ⅱ類：チュウヒ
- 環境省Ⅱ類・栃木県Ⅱ類：ハヤブサ
- 環境省準・栃木県Ⅱ類：ヒクイナ
- 環境省準・栃木県準：ミサゴ
- 栃木県Ⅰ類：アカショウビン
- 栃木県準：クイナ、コヨシキリ

※今回記録されたコウノトリは、現在の栃木県版レッドリストには記載されていないが、次の改訂版では高位に記載されるものと予想される。

### 3. 各月のポイント

○4月：調査は下旬に行われたが、昨年同様希少種のサンカノゴイとオオセッカが記録された。

これらは6月にも記録されているが、この時期既に繁殖期に入っていると考えられ、当地が貴重な繁殖環境として維持されていることが確認されたものと考えられる。ほかに移動途中と思われるカモ類が4種記録された。

○6月：繁殖期盛期にあたり、昨年同様ヨシ原の優占種であるオオヨシキリとコヨシキリが多数記録された。また4月から続くサンカノゴイ・オオセッカに加え、夏鳥でレッドリスト記載種のヒクイナも記録されたのは貴重である。さらに注目すべきものとして、ミサゴ・アオジ・アカショウビンの記録がある。ミサゴの越夏は以前から確認されているが、遊水地での繁殖は確認されていない。アカショウビンは本来夏鳥として山地の森林に渡来する鳥であり、今回なぜ生息環境が全く違う当地で記録されたのかはわからないが、定住する場所を探している移動中の個体であろうか。またアオジは奥日光・戦場ヶ原等で繁殖し、当地では越冬期に生息する種であるが、近年遊水地内で繁殖期にさえずる個体が観察されている。当地の環境が奥日光に類似しているのであろうか、今後が注目される。

- 10月：今回は調査時期を早めたため、渡り途中のツバメ類を多数記録した。特に、これまで記録されなかったショウドウツバメが、群れで確認されたことは意義がある。同種は、北海道以北で繁殖し、当遊水地を経由して南方へ渡る旅鳥であり、ツバメと同様、中継地・休息地としての渡良瀬遊水地の存在は、種の存続を考える上で極めて重要であろう。またやはり北方からの移動途中か、コヨシキリも記録され興味深い。
- 1月：去年は都合により調査時間が短くなり、十分な調査結果が得られなかったが、今回は記録種数が32種にのぼり、本来の結果を得られたと思われる。注目種としては、コウノトリ、クイナ、チュウヒ、ベニマシコ、ホオジロ科4種などがあげられる。また、カモ類5種・カイツブリ2種も記録された。この内コウノトリは、小山市側の遊水地東部で連続して幼鳥の巣立ちに成功しており、時に10羽を超える群れが見られるなど、渡良瀬遊水地が東日本随一のコウノトリ生息地になっていることは間違いない。今回この「XXXXXXXXXX」でも姿が確認されたことは、当地がコウノトリの採餌地となっていることの証であろう。